

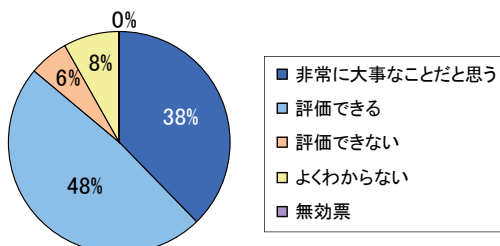
事業の実施に対する市民・観光客意向の把握

市民アンケート調査の実施

■実施概要 実施期間：平成21年11月
対象者：市内に居住されている方のうち、年齢や性別、地域等を考慮して2,000人を無作為に抽出
回収率：30.5%（回答数611人）

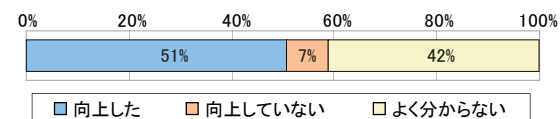
アンケート結果（主なもの）

● 事業に対する評価

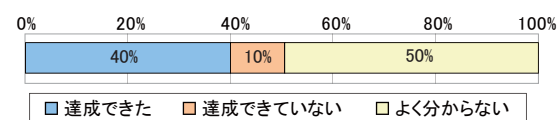


事業を評価できない理由としては、主に「事業が特定の地区に限定されている」「事業の必要性が分からない」といった意見が挙げられました。

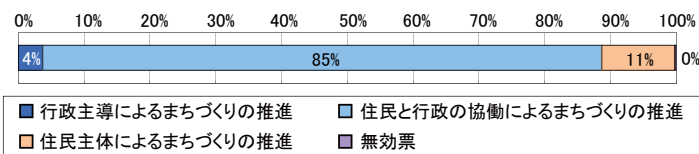
● まちの魅力の向上度（鉄輪温泉地区）



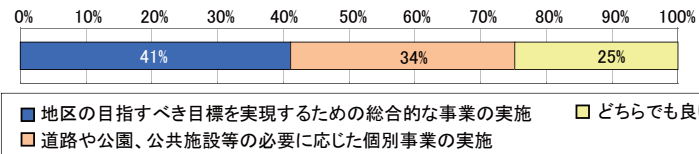
● 地区の目標の達成度（鉄輪温泉地区）



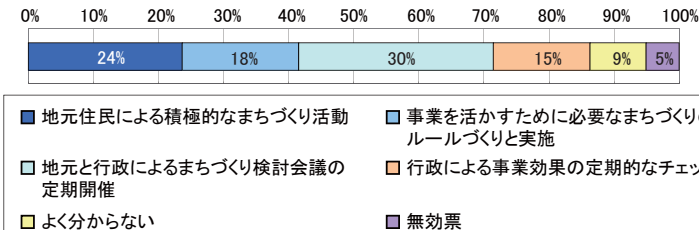
● 今後のまちづくりの実施主体として望ましいもの



● 今後のまちづくりの実施方法として望ましいもの



● まちづくりの効果を持続させるために特に必要なこと



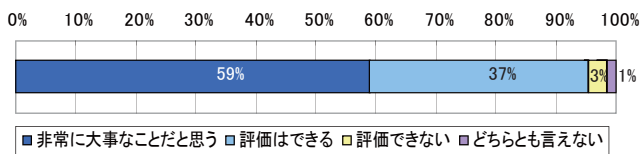
若年層ほど住民の積極的なまちづくり活動が必要だと考えている傾向が確認されました。

観光客インタビュー調査の実施

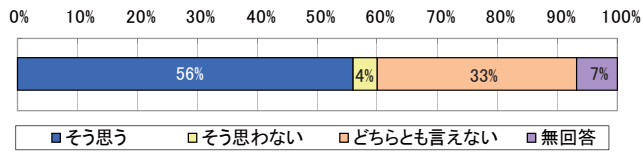
■実施概要 実施期間：平成21年11月1日（日）
対象者：地区内の観光客（サンプル数521人）
実施場所：かまど地獄前、ヤングセンター前、むし湯温泉前

インタビュー結果（主なもの）

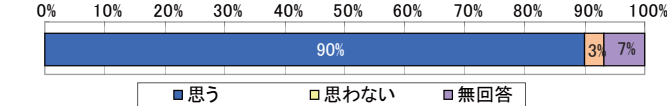
● 事業に対する評価



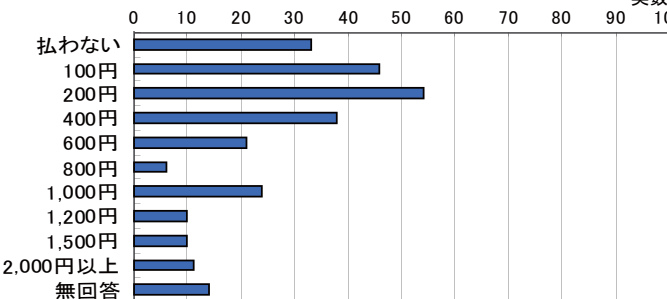
● 鉄輪温泉地区のまちの魅力が向上した



● 鉄輪温泉にまた訪れようと思いますか？



● 鉄輪温泉地区への入場料を払うとしたら？



別府市まちづくり 交付金事後評価

鉄輪温泉 地区

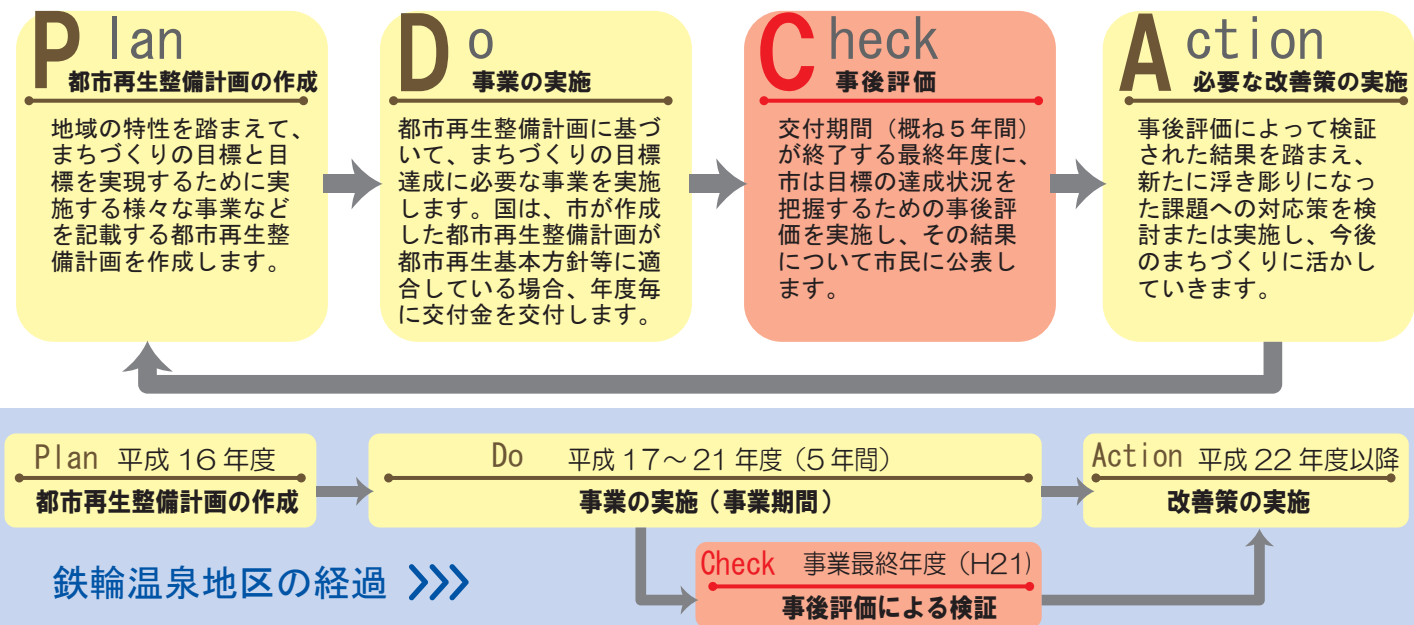
まちづくり交付金事業とは？

まちづくり交付金は、地域の歴史・文化・自然環境等の特性を活かした個性あふれるまちづくりを実施し、地域住民の生活の質の向上と地域経済・社会の活性化を図るための制度で、「①地方の自主性・裁量性の大幅な向上」「②補助金の使い勝手の大幅な向上」「③目標・指標の明確化」が行われたことで、地域の創意工夫を活かした総合的・一体的なまちづくりを推進することが可能となりました。

従来であれば、道路整備は道路の補助事業、公園整備は公園の補助事業と限定された事業において、国の補助の対象として事業を実施してきましたが、まちづくり交付金では道路や公園、下水道などの従来の補助事業（これを基幹事業といいます）と、これまで補助の対象とならなかった事業（これを提案事業といいます）を組み合わせ、一体的に事業を実施することによって、最大40%の交付金（国費）が交付する仕組みとなっており、地域の創意工夫が活かせる事業となっています。

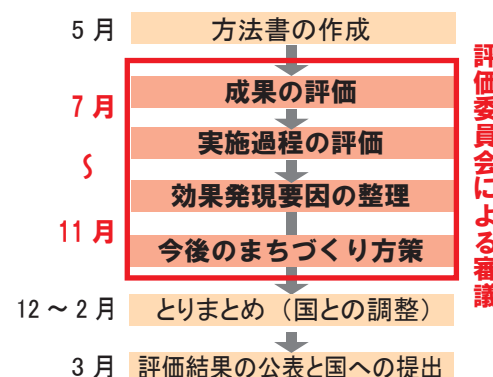
まちづくり交付金事業の流れ

まちづくり交付金事業は、地域が抱える課題やまちづくりビジョンに基づいて、まちづくりの目標や数値指標を達成するために必要な事業を記載した「都市再生整備計画」を作成（Plan）し、成果を意識しながら事業を実施（Do）し、交付期間最終年度に目標の達成度を評価（Check）するとともに、必要な改善点は速やかに改善する（Action）というPDCAサイクルを導入しています。



鉄輪温泉地区まちづくり交付金事後評価（Check）の概要

■ 事後評価における検証の全体フロー



審議事項

- 第1回委員会
 - まちづくり交付金事業について
 - 都市再生整備計画の内容説明
 - 現地視察
- 第2回委員会
 - 鉄輪温泉地区の評価結果について
 - 市民意向調査の概要
 - 事後評価原案の公表内容
 - 今後のスケジュール
- 第3回委員会
 - 事後評価結果（事後評価シート）について
 - 各種調査結果について
 - 今後のスケジュール



別府市 建設部 道路河川課

〒874-8511 大分県別府市上野口町1番15号
TEL 0977-21-2570 / FAX 0977-22-9478
mail: cen-co@city.beppu.oita.jp
http://www.city.beppu.oita.jp

主な基幹事業



観光交流センター整備事業
(鉄輪むし湯温泉併設)



市道の美装化整備事業



まちおこしセンター整備事業



街路灯の設置



ポケットパーク整備事業



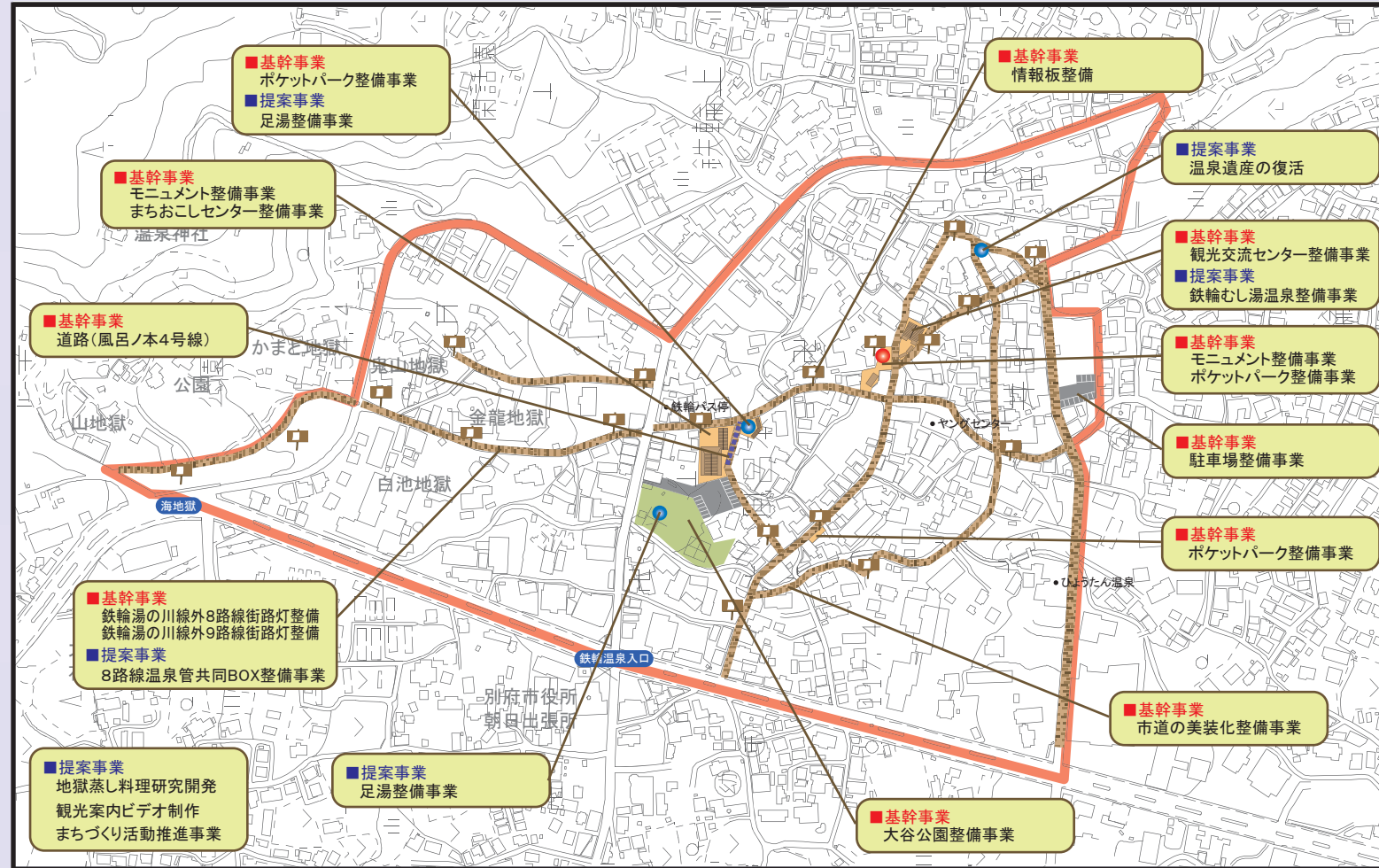
大谷公園整備事業



情報板整備

都市再生整備計画（鉄輪温泉地区）

- 大目標** ふれあいと情緒ある温泉街の賑わいを再生し、
うるおいに満ちた湯けむりたなびく交流型観光地の創造
- 目標** 人的交流を活発化し賑わいのある観光拠点を整備する
- 目標** 地域特性を活かした景観形成に取り組み、街全体が観光資源となる環境を整備する
- 目標** 来訪者が安心して路地裏、湯けむり散策が楽しめる環境を整備する



主な提案事業



温泉遺産の復活



足湯整備事業



全国へのPR(ポスター)

目標を定量化する指標

指標項目	都市再生整備計画の設定		事後評価による検証 (平成 21 年度)		目標達成の最終確認
	従前値 (基準年度)	目標値 (H21)	評価値 (H21)	検証による総合所見	
鉄輪温泉地区の観光客数 (人)	2,980,000 (H15)	3,200,000	3,010,808 (見込み)	観光客数は、事業実施前の平成15年～17年にかけて急激に減少したため、目標達成には至らなかったが、平成17年度以降は増加傾向に転じており、事業による一定の効果が見られた。	平成23年度実施予定
湯けむり散歩の参加者数 (人)	950 (H15)	1,050	1,750 (見込み)	湯けむり散歩の開催が不定期であったため、参加者数が大きく増減していたが、定期開催となったことで一定の参加者数が見込まれることとなった。	
むし湯温泉の入湯者数 (人)	20,000 (H15)	26,000	32,500 (見込み)	入湯者数は、改修直後から大幅に増加し、著しく事業の効果が見られた。	
通りの歩行者数 (人)	4,470 (H16)	4,900	5,000 (見込み)	平成17年の調査と比べ、みゆき坂の歩行者数は減少したが、いでゆ坂の歩行者数が大幅に増加しており、地区内の回遊性が向上している。	

今後のまちづくり方策

まちの課題の変化

- 新しい魅力づくりが課題であったが、地区内の住民や事業者と行政が一体となってまちづくりに取り組み、観光地としての魅力アップにつながった。
- 平成17年以降は減少傾向から増加傾向を示したが、目標の観光客数には至っていない。
- 地区内の道路の歩きやすさと安全性の確保が課題であったが、市道の美装化、案内板やポケットパークの整備によって、歩行者の歩行性が向上した。
- 市道の美装化により、視覚的に車道と歩道が区分されたが、地区内に流入する車の増加が見込まれ、車の走行速度が上昇し、交通安全上の問題がある。

今後のまちづくりの方策 (改善策を含む)

- 引き続き住民と事業者との話し合いの場を設け、今後のまちづくりや観光地としての魅力アップに取り組む。また、市民と一緒に創り上げた施設等については、施設の活用や維持管理について今後も検討を行っていく。
- 歩いて楽しい空間づくりに努め、観光客の増加傾向を維持するため、リピーターの確保を目指す。観光客のニーズに応じた観光戦略の検討を行う。
- 地区内の散策者を今後も増やしていくための対策を実施する。
- 観光客の新規開拓を図るため、まちの魅力をアピールする。
- 核施設であるむし湯温泉とまちおこしセンターの連携を図り、相乗効果によって、観光客の増加を目指す。
- 歩行者の歩行性、安全性を確保する。
- 地区内流入する車対策として、駐車場の利用促進や車の走行速度の抑制についての対策を検討する。